

○ 史跡こうもり塚古墳

- (1) 所在地 総社市上林^{かんばやし}1167番地 外 13筆 (追加指定地)
- (2) 指定年月日 昭和43年2月15日 文化財保護委員会告示第5号
- (3) 指定地面積
- | | |
|---------|--------------------------|
| 追加指定地面積 | 5,916.00 m ² |
| 既指定地面積 | 7,647.00 m ² |
| 合計 | 13,563.00 m ² |
- (4) 所有関係 県有地
- (5) 概要

史跡こうもり塚古墳は、総社平野の東に広がる三須^{みす}丘陵南西部に位置する。史跡備中国分寺跡・史跡備中国分尼寺跡のほぼ中間に位置し、周辺一帯が吉備路風土記の丘陵立自然公園特別地域となっている。墳長は約96mを測り、古墳時代後期(6世紀)における吉備最大の前方後円墳である。全国有数の規模を誇る巨大な横穴式石室(全長19.9m)を有し、吉備独自の石材である浪形石^{なみがたいし}(貝殻石灰岩)製の家形石棺や装飾大刀をはじめとする豊富な副葬品を持つ。史跡^{やた}箭田大塚古墳・史跡^{むき}牟佐大塚古墳とならび吉備地方における代表的な巨大石室墳であり、学術上の価値が高い。このような内容から、昭和43年2月に隣接する備中国分寺跡とともに史跡に指定され現在に至る。

(6) 追加指定

追加指定地は、史跡こうもり塚古墳の後円部西側から前方部南側にかけての丘陵裾部、及び前方部北東に位置する丘陵部分である。岡山県教育委員会では、「吉備路の歴史遺産」魅力発信事業の一環として、史跡こうもり塚古墳保存活用総合調査事業を立ち上げ、令和2年度から地形測量等を実施、令和3・4年度には、墳丘周辺について確認調査を実施した。その結果、古墳を取り巻くように盾形に整形された地形や、前方部の成形時に丘陵から切り離された部分が明らかになった。以上から、追加指定対象地は古墳の構造や構築方法を考える上で欠かせない部分であるため、史跡として既指定地と一体的に保護・活用を図る。



こうもり塚古墳位置図



こうもり塚古墳範囲図（赤：追加指定範囲、青：既指定範囲）



追加指定地写真（南上空から）



追加指定地写真（北東から）

○ 史跡津雲貝塚

- (1) 所在地 笠岡市西大島字津雲 3897 番 1 (追加指定地)
- (2) 指定年月日 昭和 43 年 5 月 11 日 文化財保護委員会告示第 26 号
- (3) 指定地面積
- | | |
|---------|-------------------------|
| 追加指定地面積 | 1,154.00 m ² |
| 既指定地面積 | 3,578.58 m ² |
| 合計 | 4,732.58 m ² |
- (4) 所有関係 民有地
- (5) 概要

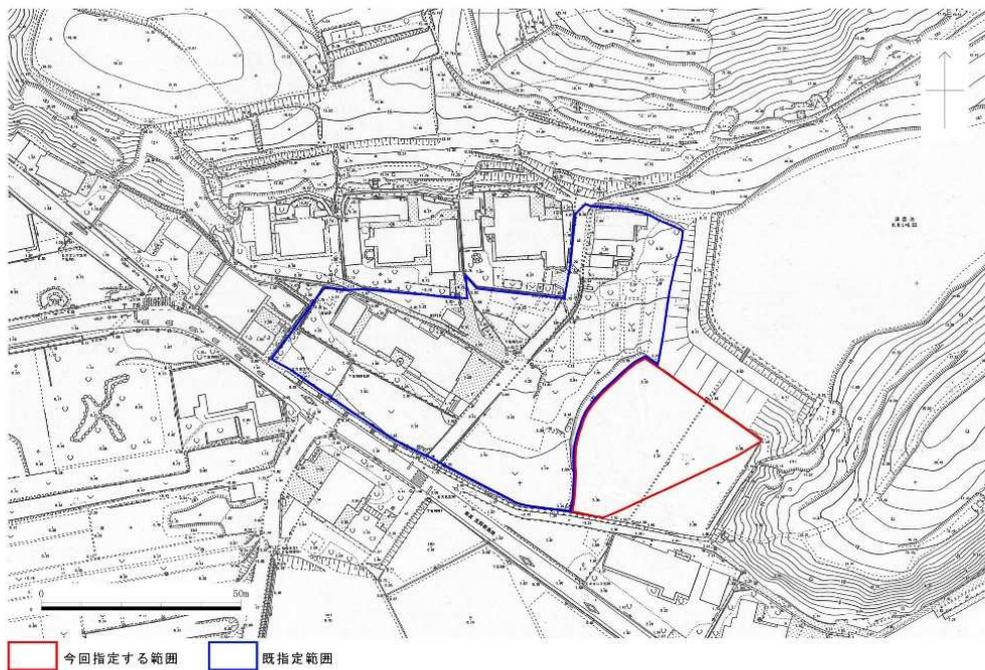
史跡津雲貝塚は、南に延びる丘陵裾に形成された扇状地に位置する縄文時代の貝塚である。東西約 80 m・南北約 70 m の範囲に及び、中心となる時期は縄文時代中期から晩期(約 5,000~2,500 年前)である。中でも後期中葉の土器は、瀬戸内地域における遺跡の年代を決めるための基準資料になっている。貝塚の中に墓域が形成されたため、埋葬人骨の残存状況が極めて良好で、大正時代には 170 体を越える多数の人骨が検出されている。出土した人骨は、形質人類学や考古学の重要な研究資料であり、縄文社会の実態解明に寄与してきた。このような内容から、昭和 43 年 5 月 11 日に国の史跡に指定され現在に至る。

(6) 追加指定

追加指定地は、既指定地東の隣接部にあたる部分等である。笠岡市教育委員会が、平成 25 年~令和元年に確認調査等を実施した結果、追加指定地には、近世の干拓による削平を免れた土層が残存し、大量の縄文時代の遺物及び動物遺存体を含むことが明らかとなった。当貝塚を取り巻く水際の地形や古環境を復元するためのデータを入力可能な場所であることが判明したことから、対象地域を追加指定し、既指定地と一体的に保護・活用を図る。



津雲貝塚位置図



津雲貝塚範囲図（赤：追加指定範囲、青：既指定範囲）



追加指定地写真（北から）



津雲貝塚（追加指定地内）出土縄文土器

○ 史跡^{ちづおうらい}智頭往来 志戸坂峠^{しとさかとうげごえ}越

- (1) 所在地 西粟倉村大字^{さかね}坂根503番地 外23筆（追加指定地）
- (2) 指定年月日 平成20年5月21日 文部科学省告示第65号（鳥取県分）
- (3) 指定地面積 追加指定地面積 88,928.91 m²
既指定地面積 7,745.48 m²（鳥取県分）
合 計 96,674.39 m²
- (4) 所有関係 村有地、民有地
- (5) 概 要

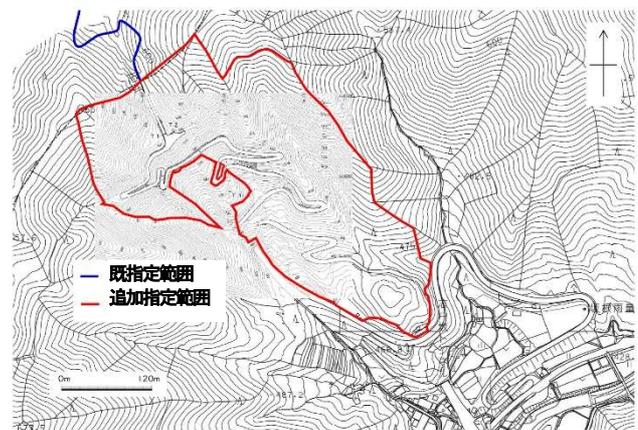
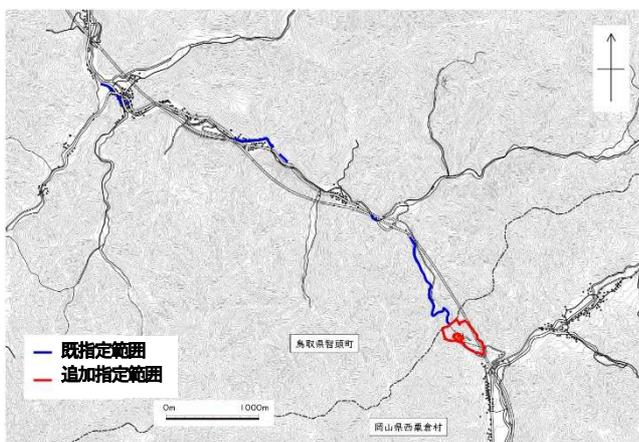
史跡智頭往来志戸坂峠越は、鳥取城下と姫路城下を結び、因幡^{いなば}地方から大阪・京都へ至る主要街道である。古代以来の主要街道で、平安時代の承徳^{じょうとく}3年に因幡国守^{たいらのときのり}平時範が任国に赴任する際に、志戸坂峠で行われた「境迎え」の儀式が日記『時範記』^{じはんき}に記録されていることでも著名である。その後、近世には鳥取藩の参勤交代道となり、宿駅が置かれ、整備・維持されていた。平成10～18年度にかけて智頭町^{ちづちよう}教育委員会により「歴史の道整備事業」が実施され、遺存状態の良好な中原・樽見^{なかはら たるみ}・駒^{こまがえり}帰地区の約2.5kmの古道が平成20年5月21日に史跡に指定され、現在に至る。

(6) 追加指定

追加指定地は、既指定地南東の隣接部・岡山県英田郡^{あいだぐん}西粟倉村内にあたる部分である。西粟倉村教育委員会が、令和3～5年に確認調査等を実施した結果、西粟倉村側の現道は、明治18～20年に国道として改修工事を行ったものであることが明らかとなった。明治政府が国家戦略として打ち出した国道整備が、地方まで早期に貫徹されていったことを具体的に示す遺跡として重要であるとともに、この現道の間部分に残っている道路については、その重複関係と路面の構造から江戸時代以前のもの^とと推測され、江戸時代から現代に至る智頭往来志戸坂峠越の重層的な改修・利用の歴史を読み取ることができ、交通史を考える上でも大変重要であることから、対象地域を追加指定し、既指定地と一体的に保護・活用を図る。



智頭往来 志戸坂峠越位置図



智頭往来 志戸坂峠越範囲図 (赤：追加指定範囲、青：既定指定範囲)



追加指定地写真 (南東から)



追加指定地所在開鑿碑写真 (明治20年・南西から)

岡山県内の国指定史跡

◎は特別史跡

名 称	所在地	指定年月日
1 岡山城跡	岡山市北区丸の内・後楽園	昭和62年 5月30日 (追加指定 平成19年 2月 6日)
2 旧岡山藩藩学	岡山市北区蕃山町	大正11年 3月 8日
3 津島遺跡	岡山市北区いづみ町	昭和46年 1月 5日 (追加指定 平成14年12月19日)
4 神宮寺山古墳	岡山市北区中井町	昭和34年 5月13日
5 造山古墳 (第1・2・3・4・5・6 古墳)	岡山市北区新庄下	大正10年 3月 3日 (追加指定 平成26年10月6日、平成29年10月13日、令和 3年10月11日)
6 大多羅寄宮跡	岡山市東区大多羅町	昭和 2年 4月 8日
7 惣爪塔跡	岡山市北区惣爪	昭和 3年 2月 7日
8 真金一里塚	岡山市北区吉備津	昭和 3年 3月24日
9 高松城跡 附 水攻築堤跡	岡山市北区高松	昭和 4年12月17日
10 牟佐大塚古墳	岡山市北区牟佐	昭和 5年 2月28日
11 幡多廃寺塔跡	岡山市中区赤田	昭和19年11月 7日
12 賞田廃寺跡	岡山市中区賞田	昭和47年 3月16日
13 尾上車山古墳	岡山市北区尾上	昭和47年 7月29日
14 浦間茶臼山古墳	岡山市東区浅川・浦間	昭和49年11月25日
15 岡山藩主池田家墓所 附 津田永忠墓	岡山市中区円山、備前市吉永町、和気町	平成10年 4月 8日
16 万富東大寺瓦窯跡	岡山市東区瀬戸町万富	昭和 2年 4月 8日 (追加指定 平成16年 9月30日)
17 大廻小廻山城跡	岡山市東区草ヶ部、瀬戸町観音寺・笹岡	平成17年 3月 2日
18 彦崎貝塚	岡山市南区彦崎	平成20年 3月28日
19 橋築遺跡	倉敷市庄新町	昭和56年12月 9日
20 箭田大塚古墳	倉敷市真備町箭田	昭和 4年12月17日 (追加指定平成4年12月18日)
21 津山城跡	津山市山下	昭和38年 9月28日 (追加指定令和元年 6月21日)
22 院庄館跡 (児島高德伝説地)	津山市神戸	大正11年 3月 8日
23 箕作阮甫旧宅	津山市西新町	昭和50年 3月18日
24 美和山古墳群	津山市二宮	昭和52年 3月 8日
25 美作国分寺跡	津山市国分寺	平成16年 2月27日 (追加指定 平成21年7月23日)
26 三成古墳	津山市中北下	昭和54年10月23日
27 津雲貝塚	笠岡市西大島	昭和43年 5月11日
28 作山古墳 第一古墳	総社市三須	大正10年 3月 3日
29 備中国分尼寺跡	総社市上林・宿	大正11年10月12日
30 こうもり塚古墳	総社市上林	昭和43年 2月15日
31 備中国分寺跡	総社市上林	昭和43年 2月15日
32 鬼城山	総社市黒尾・奥坂	昭和61年 3月25日
33 福山城跡	総社市西郡	昭和11年12月16日
34 備中松山城跡	高梁市内山下	昭和31年11月 7日
35 笠神の文字岩	高梁市備中町平川	昭和16年 2月21日
◎ 36 旧関谷学校 附 椿山、石門、津田永忠宅跡及び黄葉亭	備前市関谷	特別史跡・名称変更 昭和29年 3月20日 (史跡 大正11年3月8日)
37 丸山古墳	備前市畠田・福田・香登本 (字丸山)	昭和32年10月11日
38 備前陶器窯跡 伊部南大窯跡、伊部西大窯跡、伊部北大窯跡、医王山窯跡	備前市伊部	昭和34年 5月13日 (追加指定・名称変更 平成21年 2月12日、追加指定、名称変更 平成30年2月13日)
39 寒風古窯跡群	瀬戸内市牛窓町長浜	昭和61年 2月 5日
40 朝鮮通信使遺跡 牛窓本蓮寺境内 (鞆福禪寺境内 [福山市]、興津清見寺境内 [静岡市])	瀬戸内市牛窓町牛窓	平成 6年10月11日
41 門田貝塚	瀬戸内市邑久町尾張	昭和60年 3月 6日
42 両宮山古墳	赤磐市穂崎・和田	昭和 2年4月8日 (追加指定 昭和53年2月8日) (追加指定 平成18年1月26日)
43 備前国分寺跡	赤磐市馬屋	昭和50年 7月19日
44 熊山遺跡	赤磐市奥吉原	昭和31年 9月27日
45 大谷・定古墳群	真庭市上中津井	平成20年 3月28日
46 四ツ塚古墳群	真庭市蒜山上長田	昭和4年12月17日 (追加指定・一部解除 昭和63年9月8日)
47 下道氏墓	矢掛町東三成	大正12年 3月 7日
48 智頭往来 志戸坂峠越	西粟倉村坂根 外 ・ [鳥取県智頭町中原 外]	[平成20年 5月 21日]